

各水試発トピックス

平成29年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰 工藤専門研究員（さげます内水試）が受賞しました

平成29年4月19日、新宿御苑で平成29年度「みどりの日」自然環境功労者大臣表彰があり、さげます・内水面水産試験場の工藤専門研究員が「保全活動部門」で表彰されました。環境省では、自然環境の保全に関し、顕著な功績のあった者（又は団体）を表彰し、これを讃えるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的に、『「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』を行っています。平成29年度の表彰は「保全活動部門」13件、「いきもの環境づくり・みどり部門」3件、「自然ふれあい部門」7件、「調査・学術研究部門」3件が選ばれました。工藤専門研究員が受賞した「保全活動部門」は「貴重な自然や身近な自然などの保全のため特色ある活動を推進した者等」が対象とされています。

工藤専門研究員は電気ショッカーボートという外来種捕獲技術を国内に初めて導入し、自然環境に関して先駆的・先導的活動を果たしました。ま

た、特に今回の受賞には皇居という国の象徴である場で生態系保全に約10年にわたり、成果を挙げているなど、外来魚の駆除対策活動に尽力した事が功績として認められたものと言えます。

皇居外苑濠での外来魚駆除に関する業務は平成18年から始まり、環境省皇居外苑管理事務所が導入した電気ショッカーボートによる捕獲の技術指導を水産庁委託事業「外来魚抑制管理技術高度化事業」等のなかで取組みました。濠毎の生息個体数推定および在来魚の生息実態を明らかにする一方、外来魚の駆除効率を検討する事で効率的な駆除が可能となりました。その後、平成28年から課題対応型支援事業として継続的に取り組んでいるところです。また、工藤専門研究員の外来魚関連の受賞は平成25年の全国水産試験場会「会長賞」に続き、今回は2回目の受賞となります（北水試だより88（2014））。

（佐々木義隆 さげます内水試内水面資源部）



写真 左：授賞式での記念写真、右：皇居濠での捕獲作業風景（一番手前が工藤専門研究員）